

ゴンドラ

No.16

新たな市指定文化財「玉手山1号墳」

柏原市では平成19年に文化財保護条例を施行して以来、文化財の保護や活用に努め、市の歴史にとって重要な考古資料や古文書、建造物を文化財指定しています。2019年は10月1日付けで「玉手山1号墳」を柏原市指定史跡に指定しました。柏原市指定文化財としては初めての「史跡」指定です。

玉手山古墳群が築かれたのは今から1700年ほど前のこと。世界遺産登録にわく「百舌鳥・古市古墳群」に先行する古墳時代前期のものです。玉手山1号墳は大和川、石川を見下ろすかのように玉手山丘陵の北端に位置します。全長約110mの前方後円墳で、前方部を北に向けています。これまでに数度の発掘調査が実施され、玉手山古墳群の中で最も良好に残っていることがわかっています。

前方部と後円部の接続部分であるくびれ部では、白色の円礫が敷かれたテラス面が見つかり、埴輪が立て並べられていることがわかりました。後円部は4段もしくは3段に築かれていると考えられており、墳頂部では板石を積み上げた方形の壇が見つかっています。その中心に竪穴式石室が存在すると考えられます。ただし、大坂夏の陣（慶長20年、1615年）で亡くなった奥田三郎右衛門忠次の墓碑があるため、調査は実施されていません。

出土遺物として楕円筒埴輪、円筒埴輪が見つかります。楕円筒埴輪は2本をつないで埴輪棺として使われ、また円筒埴輪は古墳の周囲に立て並べられていたものです。

かつては破壊の危機にあった玉手山1号墳ですが、今回の指定を契機に保存、管理、活用について充実させていきたいと考えています。



玉手山1号墳のくびれ部（2004年の発掘調査時に撮影）

企画展のご案内

◎令和元年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーおいしいお米ができるまでー」

令和2年1月4日～3月8日

毎年開催している昔の道具を中心にした展示で、小学3年生の学習内容に合わせた展示にしています。今回は、田舟、脱穀機、唐箕^{とうみ}など、お米づくりに関係するさまざまな道具を紹介します。

◎令和元年度春季企画展「龍田古道（仮）」

令和2年3月28日～6月14日

龍田古道^{たつた こうどう}は古くから大阪と奈良を結んだ大和川沿いの道です。展示では、龍田古道の歴史について、わかりやすく紹介します。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎講演会

市民歴史大学【定員：90名、時間：13：30～15：00、会場：研修室、参加費・申込不要】

市内の歴史や文化財をテーマにした講演会で、令和元年度のテーマは「歴史舞台・玉手山」です。

◆令和2年1月11日（土）

広瀬和雄氏（国立歴史民俗博物館 名誉教授）「前方後円墳は政治的墳墓」

◆令和2年2月16日（日）

犬木努氏（大阪大谷大学 教授）「埴輪の考古学ー入門編ー」

◎講座

館長と学ぶ大和川講座【定員：70名、時間：13：30～15：00、会場：研修室、参加費・申込不要】

当館の安村俊史館長による大和川付け替えについての講座です。

◆令和2年1月25日（土）「亀の瀬の地すべりと大和川」

◆令和2年2月22日（土）「これからの大和川」

◆令和2年3月28日（土）「大和川の歴史を語る」（最終回）

◎体験教室

「わらぼうりをつくろう」【定員：15名、会場：研修室、参加費無料、対象：小学5年生以上】

◆令和2年2月2日（日） 13：30～16：00

※先着順で定員になり次第、締め切り。小学4年生以下は、保護者の付添いが必要です。

◎刊行物

- ・『国史跡 高井田横穴』300円…歴史資料館に隣接する高井田横穴を紹介。内容を一新しました。
- ・『柏原市立歴史資料館 館報 31号』400円…平成30年度の活動報告のほか、研究報告「玉手村の黄金塚古墳」「築留に立つ石碑の碑文」「坂戸牧考」を掲載しています。

企画展を終えて

★令和 30 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちー伝えるー」

平成 31 年 1 月 15 日～3 月 10 日

見学者数 2,151 人（個人 1,455 人、団体 696 人）

★平成 30 年度春季企画展「安宿郡の古墳と寺院ー7・8 世紀の近つ飛鳥ー」

平成 31 年 3 月 30 日～令和元年 6 月 16 日

見学者数 2,072 人（個人 1,765 人、団体 307 人）

★令和元年度夏季企画展

「歴史舞台・玉手山古墳群」

令和元年 7 月 6 日～8 月 25 日

見学者数 1,833 人（個人 1,821 人、団体 21 人）

★令和元年度秋季企画展

「大和川つけかえと中甚兵衛」

令和元年 9 月 10 日～12 月 8 日



安宿郡のジオラマ（市民歴史クラブ製作）

平成 31・令和元年の特集展示

常設展示室の一面に設けている特集展示コーナーでは、企画展の補足的な資料や企画展で扱うには数が限られている資料、あるいは市民から要望の多い資料などを展示しています。昨年は、

- ①「八尾の名品ー大阪府史跡愛宕塚古墳のすべてー」（平成 30 年 10 月 2 日～平成 31 年 3 月 17 日）
- ②「高井田横穴群」（平成 31 年 3 月 19 日～令和元年 6 月 9 日）
- ③「歴史舞台・玉手山ー古代編ー」（令和元年 6 月 11 日～同年 9 月 8 日）
- ④「中甚兵衛の生涯」（令和元年 9 月 10 日～令和 2 年 2 月 2 日）

をテーマに展示を行いました。①は八尾市立歴史民俗資料館の全面的な協力をいただいて企画し、②は「もっと高井田横穴群について知りたい」という入館者との立ち話から生まれました。また③・④は企画展に関連する展示となっています。

特集展示は、各期間を見てわかるように展示替えの時間が 1 日しかなく、準備が大変です。ただ展示期間やテーマは比較的自由度が高く、企画展とは違った切り口の展示が可能です。今後の展示を充実させるために、たくさんのご意見をお聞かせください。なお令和 2 年 2 月 4 日～4 月 26 日には「大阪万博から 50 年ー田中友幸が描いた未来ー」を開催します。どうぞお楽しみに！



特集展示「歴史舞台・玉手山ー古代編ー」

日本書紀と柏原

2020年のビッグイベントといえば、真っ先に東京オリンピックが浮かぶかもしれませんが、歴史的な視点からすると「日本書紀成立 1300 年」の方が大きなトピックとして挙げられます。『日本書紀』は奈良時代にあたる 720 年に、国家の一大事業として編纂された歴史書です。712 年に成立した『古事記』も有名ですが、こちらは主に天皇家の歴史をまとめた国内向けの書に対し、『日本書紀』は、唐や新羅といった当時の近隣諸国に示すための国家の公式な歴史を記した書とされています。こうした内容の違いから『日本書紀』は、国の公式記録をまとめた「日本最古の正史」に位置づけられます。ちなみに編纂期間は『古事記』が 4 か月に対し、『日本書紀』は 39 年の歳月が費やされました。

古代史研究の上で極めて重要な基本史料『日本書紀』の成立から 1300 年ということで、各地の博物館では、関係する展示が予定されていますが、当館でも『日本書紀』を扱った展示を企画しています。というのも、『日本書紀』には柏原に関連する内容が数多く記されているからです。スペースの関係で、主なキーワードのみ挙げると「こにきし軍君（こん き おう昆支王）」、「あすかべぐん安宿郡」、「たなべのふひと田辺史」、「おほ ち大道」、「えがのかわ衛我河」、「かしこのさかのみち懼坂道」などがあります。

3 月から当館で開催する春季企画展「龍田古道（仮）」は「大道」に関連する内容でもあり、7 月からの夏季企画展では『日本書紀』と柏原をテーマとし、展示に関連した講演会も予定しています。

漢文で書かれているため、難解な部分もある『日本書紀』ですが、当時の社会情勢を知った上で読むと、より一層興味深い内容になります。今年は『日本書紀』にどっぷりつかってみてはいかがでしょうか。



「軍君（昆支王）」に係する高井田山古墳

ひとこと

これまで Gondra は 9 月に発行されていましたが、今回は、1 年を振り返り、新たな年の予定もご紹介する意味で 1 月の発行となりました。昨年のラグビーワールドカップでそうだったように、今年の東京オリンピックでも、競技だけでなく開催国の文化的・歴史的な面が大きく注目されるのは間違いありません。そうしたなかで、こういったレガシー（遺産）が残されるのか、注目です。（W.Y.）

柏原市立歴史資料館



休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL：072-976-3430

歴史資料館ホームページ QR コード